

わたり病院は、経済的理由による差別を医療に持ち込まないために、差額ベッド料金はいたしません。

ふくしま



医療生協

2011年5月号 第328号
発行責任者 渡辺 幸夫
http://www.fmc.u-coop.or.jp

福島医療生活協同組合 TEL 024-522-1236
〒960-8141 福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院 TEL 024-521-2056
〒960-8141 福島市渡利字中江町34番地

健康(ふつう)で いられることの幸せ

健康で救われた命(若松伸一さん)

日建工業に勤務する若松伸一さん(三十八歳)は三歳の息子さんのお父さん。若松さんは昨年五月の健診で胃がんを指摘され、わたり病院で胃の三分の二を摘出する大手術を行いました。あれから十ヶ月。今現在の様子をうかがいに
おじやました。



若松伸一さん

従業員の健康は 会社の財産

有限会社日建工業(伊達市伏黒)従業員九名伊藤正春社長はビル用スチールサッシを製造。そこで、経理を担当

まさかの胃がんの指摘

健診を終えたその日、会社にわたり病院から若松さん

する伊藤美知子さんは、元福島医療生協理事。現在は川西支部の運営委員です。日建工業は二十年以上前からわたり病院で企業健診を行っています。特に、三十五歳以上の従業員には各種がん検診を積極的に推奨しており、社員全員が毎年受けています。従業員健康は会社の財産ですからね。伊藤正春社長の口ぐせです。



日建工業のみなさん。若松さんの左が、伊藤正春社長。その隣が伊藤美知子さん。写真右上が伊藤洋介専務。

従業員全員であればこそ

若松さんは、以前から多少の胃のむかつきはあったものの、まだ三十代。まさか自分

へ電話が入りました。即日胃カメラと組織細胞の精密検査を行い、早期胃がんの診断。胃の摘出手術を行いました。術後の病理検査の結果でも術前診断と同じ早期胃がんでした。再発の心配はありません。その間、わずか三週間の出来事でした。もしかん検診を受けていなければ、今ごろ...

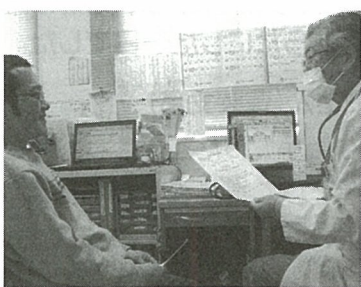
若松さんの奥さんは、手術成功後、伊藤社長並びに美知子さんに涙ながらに感謝したそうです。

がんは、早期発見・早期治療が最大のカギ

がん発見には胃カメラ検査のほうがお勧めです。胃の中をくまなく見ることが

でき、胃粘液などを水で洗うことで胃表面を見やすくできるからです。胃透視においては、きれいな写真を撮る技術と、何枚もの写真の中から僅かな異常を発見する高い

診断能力が必要です。わたり病院消化器科の診断能力は胃カメラ・胃透視ともに県内で高い水準にあります。安心してお受け下さい。



主治医の柴田先生の診察。経過観察は怠らない

※この記事は若松さんの了承をえて掲載しています。

が胃がんだとは思ってもありませんでした。美知子さんのすすめと、従業員全員でなければ受けてなかったでしょう。若松さん。日建工業の従業員への思いやりが命を救ったのです。

手術後三ヶ月間の休養後、若松さんは職場に復帰。健康でいられることの喜びをかみしめながら、良き同僚に囲まれて、今日も汗を流す毎日です。

はたらく姿 No.1

地震に負けない!! リハビリパワーで吹き飛ばせ!

(リハビリスタッフ一同)



震災から2日間、回復期リハ棟は、外来リハ室～専門外来前に移動。不安がる患者を気遣い、体操を指導するリハビリスタッフ。

※新コーナーでは、福島医療生協で働く人々にスポットをあて、ご紹介していきます。

第45回通常総代会のお知らせ

- 日時
6月19日(日)
9:30~15:00
- 場所
コラッセふくしま



市民健診のお知らせ

今年は6月から 福島市市民健診が始まります。生協健診で実施する「腹部エコー」「乳がん」「子宮がん」検診などは通年で受け付けています。

■お問い合わせ
わたり病院健診センター
TEL.522-3446



今年度は福島市市民健診が6〜10月に変更

健康管理の第一歩

健診



わたり病院 健診センター 野村 晃

まずは、このたびの震災で被災された皆様からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

東日本大震災以降の停電や断水、物不足、放射能への不安などによって、心も体も多くの負担を強いられています。今までと変わらなないように見えても、長期間にわた

たるストレスによって、知らない間に体の中が様々なダメージを受けているかもしれません。以前のよ

うな生活に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。ぜひ健診で体を点検してみたいかがでしょうか。

六〜十月に変更になります。時期が後半になるほど、従来以上の混雑が予想されます。できるだけ多くの皆様が受診できますよう、お早目の受診をお勧めいたします。 ※九、十月は組合員健診の乳がんは実施いたしませんので、ご注意ください。

Q&A 特集 乳がんをもっとよく知ろう



わたり病院 外科医師 佐藤 祐治

乳がんの検診は四十歳以上で「マンモグラフィ（乳房撮影）+触診」が基本です。四十歳代はマンモが両側二方向になります。四十歳未満のマンモは、デメリットの方が大きいといわれています。

Q1 わたり病院ではどのような検診ができますか？

A 乳がん検診として四十歳以上は、前述。

四十歳未満には、乳房エコー検診を設定しています。触診のみの乳がん検査は、行わなくなりました。

Q2 マンモグラフィと乳房エコーとはどのような検査ですか？

A マンモグラフィは、乳房を機械ではさんでレントゲンを撮ります。日本では、同日触診もセットになっています。

乳房エコーは、エコー（超音波）検査装置に、乳房用の専用プローベ（探触子・皮膚へ押しあてて画像を得るもの）をつけて、乳房の体表面から

地域の健康づくりの向上をめざして

理事会 保健委員会

理事会保健委員会では、毎年、福島市保健福祉センター健康増進課のみなさんと情報交換を行っています。会では、福島市の健康づくり事業活動や健診の実施状況・課題、これからの計画などをうかがうとともに、福島医療生協の保健活動を報告いたしました。



▲2月24日に行った懇談会のようす

今後、地域の健康づくり活動を広めるために、福島市や他団体と連携していきたいと考えています。

平和な世界をリレーしたい

3月5日、福島医療生協9条の会主催で、職員・組合員44名は、靖国神社・遊就館と東京大空襲被災資料センターを見学しました。戦争の象徴である靖国神社（遊就館）と国民の平和の願いのもとに造られた被災資料センターの見学で、参加者みな、視点の違う双方の施設を比較し、平和への想いをあらたにした一日でした。



安田三郎さん（蓬莱支部）

無謀な戦争だったと今はわかれど、戦争体験者として複雑な気持ちになり、涙が止まりませんでした。亡くなった方々の死を無駄にしないよう、憲法9条を守っていききたい。

◀当時の空襲の体験を語る、二瓶治代さん

町田理恵子（職員）

平和は守り続ける多くの人々の努力によって維持されるものだと思います。子どもたちにはその担い手になって欲しいと思い、今回のツアーと一緒に参加しました。平和な世界をリレーするだけでなく、平和な世界を一緒に作り、守っていく想いもリレーしたいです。



遊就館をバックに▶

環境学習会「プルサーマルってなに？」

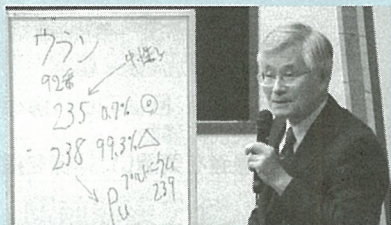
二月二十二日 県文化センター 視聴覚室において福島医療生協環境委員会主催で、プルサーマルの学習会を行いました。参加者は三十四名でした。

プルサーマルとは、原発の使用済燃料から取り出したプルトニウムをウランと混ぜたMOX燃料を利用すること。つまりウラン資源のリサイクルです。県は、福島第一原発三号機でのプルサーマル計画受け入れを認めました。

プルサーマルは危険。万一事故が

発生すれば、国家の損失はもとより、作業員、地域住民の被爆など、原発の賛成が反対の問題ではない。プルサーマルは「百害あって一利なし」です。核燃料サイクル政策を見直し、プルサーマルは絶対に止めるべきです。

（文 清水北支部 鍋湯千代雄



講師の伊東達也さん（原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員）



新任医師紹介

内科 佐藤晶彦 先生

二月四日
より医療生協わたり病院に勤務いたしました
佐藤晶彦(さとあきひこ)と申します。一九八六年三月に福島県立医科大学を卒業しまし

たが、すぐ基礎医学の細菌学の大学院に進みました。学位取得後も細菌学から衛生学に移り、九年前いわきの病院で我流で臨床を始め四年前福島に戻りました。今内科を五十の手習いで学び直しています。宜しくお願ひします。



深部を映し出す検査です。
Q3 症状が全くなくても四十歳になったら検診は受けたほうがいいのですか?
A もちろんです! 早期のがんは、ごんがんで痛みを伴わないので注意が必要です。
Q4 乳がん検診は二年に一回ですが、毎年受診しなくても大丈夫ですか?
A 国の専門機関でリサーチした結果では、二年に一回の乳がんマンモ検診を勧めています。わたり病院としては、四十歳代は、毎年の検診をお勧めします。
Q5 乳がん検診は何歳まで必要ですか?
A 乳がんで死亡したくなかったら死ぬまで検診が必要

と考えます。乳がんの発生は、どの年齢でも0%にはなりません。高齢でベチャパイになり触診が容易に行えれば、自己検診で早期の乳がんを発見できるので、頻繁の乳がん検診をしなくても済む可能性はあります。
Q6 乳がんがしやすい人はどのような人ですか?
A 家族に乳がん患者のいる人、初潮が早かった人、閉経が遅い人等、いろいろあるようですが、可能性が高くなるだけで、全員が乳がんになるわけではありませんので特別な心配は不要です。また、絶対になんにもならないという人もおりませんので、女性であれば、全員が、乳がん検査を受けるべきです。
Q7 乳がんはどのような症状がありますか?
A 初期には、自覚症状がありません。

初期症状としては、しこりが触れることが、最初ではないかと思えます。ですから、自己検診としての触診が大切なのです。
Q8 乳がんは治りますか?
A 早期の乳がんであれば、治せます。(完治します)
Q9 早期の乳がんとは、大きさでどのくらいですか?
A 直径2cm以下で、リンパ節転移のないもの。(リンパ節転移がなければ、もっと直径の大きなものでも早期乳がんといえます)
Q10 自己検診でしこりを見つけました。わたり病院では何科を受診すればよいのですか?
A 外科を受診してください。

受診同日の検査をする為には、月、水、木、金曜日の午前中に受診してください。
Q11 検診結果が精密検査を受診した。がんですか?
A 精密検査になる人は、受診者の六〜九%ほどいますが、その中で、がんの人は、十人に一人の割合で、十中八九は、がんではありません。がんでないことを確認するための精密検査として受診してください。
Q12 若い女性にも乳がんが多くなっていますが、何歳くらいから気をつければよい

のですか?

A 二十歳になったら乳がんの自己検診を始めることをお勧めします。

Q13 三〇歳代の場合、乳がん検診はどこに問い合わせ

ればよいのでしょうか?

A 二十歳になったら乳がんの自己検診を始めることをお勧めします。

A 症状が無い方は健診センターへ、症状の有る方は外科を受診を。

東日本大震災とTPP



診療所の協いの生協
所長 松本 純

今こそ日本の農業の復興を

さて、震災前に菅総理はこの六月にもTPP参加を決定すると表明していました。ところがここに農畜産海産物の放射能汚染です。当面はアジア・アメリカなどからの輸入品はありがたいと思いたくもありませんが、こんな時

三月号で農民連の根本敬さんからTPPの問題を話していたきましたところに東日本大震災と原発事故にみまわれました。そこで今この問題をどう考えたらよいのか、生協の診療所の松本純先生におうかがいしました。

国際的に信用が失墜した日本政府

当初、東京電力と政府が「原発事故は想定をはるかに上回る大地震と津波だったから」との言い訳を繰り返したことは日本国民ばかり

ではなく国際的にも信用を失いました。今後、地球的規模で大気汚染や海洋汚染が進むとすると日本に対してさらにはきびしいまなざしとなることは間違いありません。

「TPP参加で医療ツーリズム」目論見は

私は今月号で「医療ツーリズム」を推進するため「医療滞在ビザ発給」の動きがあり、その一方で日本医師会は国民皆保険の崩壊を懸念して反対していることなどの原

料金は、組合員二百円。一般五千五百円です。



稿を準備していました。しかしこの震災で日本への観光客は四分の一以下へ激減、日本滞在中の外国人労働者の多くも短期帰国ビザを求めて帰国、と報道されています。「お金持ちの外国人を自由診療で」といった目論見は今やはかなく消え去ったと思います。

大震災から復興するために

今回の東日本大震災では国際的にも様々な支援がありました。早期の医療支援ばかりでなく、放射能汚染の対策にもアメリカやロシアからの技術的支援が表明されているとのこと、しかし日本政府は今までのところ国際的なメンツを計算しながら対応しているようにみえてなりません。日本政府は今回の事態をふまえるならば、TPPへは参加しないことを明言する。真の意味での国益を守る。国際的な連帯を求める。としてこそ日本は大震災から復興する希望がみえてくると思います。

主催：福島医療生協

新庄まつり元気旅

期 日：8月24日(水)～25日(木)

会 費：19,500円

見どころ：宵祭りとお祭り（指定席で見学）若松寺・最上徳内記念館・最上川3難所舟下り・若あゆ温泉・封人の家 するなど

宿 泊：ニューグランドホテル（シングルとツインです）



お申し込み先 組織部まで
電話522-1236

※組合員ならどなたでも参加できます。ただし、定員になり次第締切りといたします。

“たまり場”の輪がひろがっています

各支部で地域の高齢者を対象とした、お茶会・食事会の輪が広がっています。渡利支部では昨年10月からはじまった「茶話会」が回を重ねて4月で6回目。さくらみずでは、職員が一人暮らしのお年寄りや、診療所でなかなかお話しできない患者をお誘いし、「サロン」を開催中。“会って・話して・楽しみ・食べる”ことがポイントです。



▲渡利の茶話会。毎月第4日曜日、組合員ルームで開催。

2/20 4/12 ふれ愛さろん(クリニックさくらみず)

さくらみず事務長 松崎 聡

みんなの持ち寄りのごっつおと自己紹介・パフォーマンスなど、あっという間の1時間でした。今後も継続します。

佐藤ふみさん

口下手な私でも、職員、はじめてお会いする方々と話ができて良かった。

斎藤和子さん

なごやかで、みなさんがニコニコしていたのが印象的。職員のみなさんのお誘いに感謝しています。



2/28 4/25 ふれあい茶話会(渡利支部)

丹治アサ子さん

出会い・おしゃべり・おいしい昼食、毎回参加が楽しみ。

小野テウさん

一人暮らしの私を誘ってくれたことに感謝。同世代のみなさんと友達になりました。



▲ふれ愛さろん。土屋所長・渡辺看護長ら職員もついで、会話ははずむ。

無料法律相談会

- とき
5月12日(木) 13:30～15:30
6月 9日(木) 13:30～15:30

- 相談員
深谷 拓弁護士(あぶくま法律事務所)



前回のようす。
相談を受ける深谷弁護士・三浦司法修習生

INFORMATION

これからの行事

5月

どうぞご参加ください

がんばっぺ福島 駅前健康チェック

- ◆日時/5月14日(土) 13:00～15:00
- ◆場所/福島駅東口広場

「のぞみ会」を例会として実施。あとは「調理実習」と病院と共催の「研修会」、そして年に一回の総会がある。五月の総会によって年間活動が決められる。八月はクリニックさくら



調理実習のようす

「のぞみ会」のメンバーは、月一回の「歩こうづく」。私たち

「のぞみ会」は「わたり病院糖尿病患者の会」であり、学校での「クラブ活動」みたいなもの。そして活動には二十年以上の歴史がある。

「のぞみ会」は「わたり病院糖尿病患者の会」であり、学校での「クラブ活動」みたいなもの。そして活動には二十年以上の歴史がある。

六十歳過ぎてから、まさかと思っていた糖尿病I型の宣告を受けたWさん。十一月に八十九歳の誕生日を迎えたY姉さん。万年青年八十五歳のお兄ちゃんらが、先頭を切って颯爽と歩き、われわれはその後につづく。

のぞみ会会長 亀岡一俊

「のぞみ会」の紹介

糖尿病患者の会

みずたんポルムを会場に調理実習。十月は中津川



参加者一同の一こま

と価値ある人生を送るために「のぞみ会」は誕生した。私たちは病院の先生方を主治医として、患者であることを自覚しながら、励み合って楽しく活動している。何ととっても、ウォーキングや調理の作業をしながら、会員同士が悩みをぶちまけ合せて、話ができるのがうれしい。



昨年秋の丸森不動公園散策のスナップ

会員募集中

お問い合わせは

わたり病院糖尿病診療科事務局
TEL.521-2056

担当 外来医事課/斎藤 剛
外来看護師/佐々木妙子
柴田美由紀 まで